

令和3年度 事業計画及び収支予算

令和3年（2021年）4月 1日から
令和4年（2022年）3月31日まで

一般財団法人 下松市笠戸島開発センター

目 次

一般財団法人下松市笠戸島開発センター事業計画	・ ・ ・ ・ P. 1
一般財団法人下松市笠戸島開発センター収支予算	・ ・ ・ ・ P. 9
一般財団法人下松市笠戸島開発センター 収支予算内訳表	・ ・ ・ ・ ・ P. 11
資金調達及び設備投資の見込みについて	・ ・ ・ ・ ・ P. 13

令和3年度 事業計画

令和3年（2021年）4月 1日から
令和4年（2022年）3月31日まで

令和3年度一般財団法人下松市笠戸島開発センター
事業計画

1. 令和3年度基本方針

◎はじめに

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症に振り回された一年でした。今もまだまだ収束に向かっておらず、先行きの予測がつかない状況です。宿泊・観光業は、かなりの影響を受けており、今後も難局が予想されます。そのような折、新たな指定管理者として、国民宿舎大城を5年間、下松市笠戸島家族旅行村は1年間のスタートいたします。今、この難局を乗り越えるため、今まで以上に、職員の意識向上と団結を高め、取り組んで参ります。

◎基本的な有り方

市条例の設置目的にある「住民の福祉の向上及び健康の増進並びに観光の振興を図る」ため、下松市民や笠戸島島民に気軽に利用して頂ける憩いの場として、また市外・県外からのお客様には、下松市に足を運んで頂くきっかけ作りをしていくとともに、何度もお越し頂ける癒しの空間として、更には、全国に誇れる施設としての役割を果たすべく管理運営して参ります。

◎管理運営

公共施設としての認識を持ち、お客様が快適に施設を利用出来るよう親切且つ迅速な対応で接するとともに、公平公正なサービスを心掛けて参ります。利用されるお客様、取引業者、地域の方々にとって必要不可欠な施設を目指すことで継続運営、地域の活性化に寄与し、雇用の安定を図って参ります。

2. 受け入れに関する事業

下松市の「観光振興を図り交流人口の増大」に寄与するため、下松市や笠戸島に足を運んで下さるお客様に対し、親切丁寧で真心のこもった接客を行ってまいります。また、本年の財団スローガン「縁を紡いで50年 紡いだ縁は色を変え続ける」のもと、開業50周年を迎え、これまでの感謝とこれからの見据えた、事業の第一歩を踏み出して参ります。

(1) 財団財産管理

一般財団法人として、各関係法令を遵守し、財団運営に必要な、正確で迅速な事務処理、財産管理、顧客管理等に取り組み、各事業の活動基盤の確保に努めて参ります。

(2) 国民宿舎事業（指定管理）

① お客様に愛される国民宿舎

- ・ 「おもてなしの心」で満足度を高め、「幸福感」と、感動を与えられる施設を目指します。
- ・ お客様にとって必要不可欠な施設、多くの方々から愛され、全国に誇れる施設を目指します。

② 安全安心な国民宿舎

- ・ 非日常を味わえる癒しの施設として、ご利用いただく全ての皆様が、安心して利用出来る施設を目指します。

③ 地域経済発展の国民宿舎

- ・ 地域企業や地域団体との関係を重視し、下松市及び笠戸島の観光振興の情報発信を行うと共に、下松市及び周辺地域の特産品、農水産物の活用を行い、経済活動に寄与出来る国民宿舎を目指します。

(3) 笠戸島家族旅行村管理運営事業（指定管理）

① 維持管理業務

- ・ キャンプ場等各施設及び設備の機能と周辺環境を良好に維持し、ご利用の皆様が、常に安全で快適に利用出来るように、施設及び設備の維持管理に努めます。
- ・ 良好な衛生環境、美観の維持を心掛け、公共施設としての快適な空間を提供するために必要な環境整備に努めます。

② 自主事業業務（飲食、物販等）

- ・ サービス棟では、気軽にご利用出来るよう軽食提供、バーベキューガーデンの食材提供、管理棟では、地元特産品、キャンプ用消耗品等の商品販売を行います。

(4) はなぐり海水浴場管理運営事業（委託事業）

- ① 例年同様、開設時に救急救命の指導を受け、常に遊泳者や海の状況を監視するとともに、天候や遊泳区域の危険箇所、危険生物への注意喚起等に気を配り、利用者の安全第一に努めます。
- ② 利用者に快適に過ごしていただくため、管理区域内のゴミ拾いやトイレ、シャワー棟の清掃等の環境美化に努めます。

3. 利用促進のための取り組みについて

気付きやご要望を承るため、アンケート調査を引き続き行い、宿舎及び旅行村の改善点等を把握し、迅速な対応を行うことで、顧客満足度の向上に努めて参ります。

利用頻度の高い宿泊リピーターに対しては、ダイレクトメールを、また日帰りの団体客には、パンフレットを送付・持参することで、季節毎の集客に努めます。近隣の商工会議所会報誌にパンフレットを同封し、タイムリーなプランを発信しつつ、利用促進を図って参ります。

パブリシティには積極的に応じていき、収支状況に合わせて、テレビ・新聞・雑誌・インターネット等、時期や地域により、効果的な広告を実施して参ります。

SNSによる情報発信を実施することで、「行ってみたい・見てみたい・味わってみたい・体験してみたい」等、魅力ある宿舎であることを発信し続けて参ります。

強みである「料理」、「温泉」、他には無い風光明媚な「景観」を最大限に活かしたプランを展開し、「国民宿舎大城及び笠戸島家族旅行村」が着地型観光地となるよう利用促進を図って参ります。

4. 市の施策協力及び地域や観光関係団体等と協力した取り組みについて

新型コロナウイルス感染症の状況を見つつ、下松市関連イベントに関しては、参画協力を行って参ります。

笠戸島観光推進委員会や下松市観光協会に関するイベントをはじめ、各種スポーツイベントや選手の方々の受入先として、更には財団独自の主催イベント、体験会、地元の協力イベントとして、笠戸島周辺に約600本植樹されている河津桜のPR、「宝の島っ子卒業イベント」の実施、さらには、県内各地から募集した小学生参加による「キッズRUNフェスタ」の実施等をして参ります。

イベントを通じて情報発信を行うことで、年齢層を問うことなく観光振興

の一助に努めて参りました。今後も引き続き体験型イベントを通じて、笠戸島の魅力の発信に努めて参ります。

各種関係団体様との協力において、農林水産業に関しましては、下松市農業公園：笠戸島特産品開発グループ・21世紀フラワーファーム様等、また下松市林業研究会や下松市栽培漁業センターとの取引を実施しており、商工業に関しましては、下松商工会議所の特別会員であり、ゆめタウン下松（イズミ株式会社）様とは「ゆめカード」の提携、地元菓子製造業者様や酒造会社様と協力販売を実施する等、さまざまな業務協力を行っており、下松の農産物による菓子の製造開発や地元の「竹炭」販売といった、各種団体の活動支援販売及びPRを実施して参りました。今年度も各種関係団体と協力し、特色を活かした物産販売や協力活動を行って参ります。

5. 研修計画について

職員のスキルアップ、コンプライアンス遵守、社会人、組織人としての規律維持として、以下のような研修や講習会等に参加、実施して参ります。

◎営業事務関連

- ・労働・社会保険基礎セミナー
- ・税制度改正関連講習会

◎食品衛生関連

- ・HACCPを取り入れた食品衛生管理研修
- ・食品衛生講習会
- ・食品表示責任者養成講習会

◎防災、防火関連

- ・防火管理者講習
- ・救急救命講習会

◎人権

- ・人権に関する研修会

◎労働安全衛生関連

- ・安全衛生委員会の開催（毎月1回実施）

◎各種資格

- ・今後、資格研修については、職員の実務能力向上を図るため、原資格者以外の受験も計画いたします。

コロナ禍の折、各研修機関、資格研修等の日程が不定期となったため、今後の動向を見据えつつ実施計画を作成して参ります。また、財団にて開催する講習は、休館日や年間スケジュールを作成し実施して参ります。

6. 経費削減に向けた取り組みについて

宿泊飲食業にとって、経費の中で最大のウエイトを占めるのは人件費です。収入は季節により変動しますので、人員配置は繁忙期ではなく閑散期をベースとし、収支均衡を図るようにして参ります。今後、退職者が出る等で新規雇用をする際にも、非常勤（パート・アルバイト）を雇用することにより人件費を抑え、効率的でありつつもサービスの低下には繋がらないようにして参ります。

人員を削減することにより、業務の委託料（接客派遣委託）が増大する懸念がありますが、食事料等の金額に対して10%以内を目標に収支均衡を図って参ります。また、お客様の利用形態に合わせて、派遣人数の総数、各会場担当人数、15分単位での時間管理をする等の工夫で、サービスの低下に繋がらないよう努めて参ります。

原材料費や備消耗品費等の変動費に関しましては、予算の進捗状況を把握するとともに、現場に情報をフィードバックすることで、仕入れ状況を可視化

させ、最適化を図って参ります。また、業者間での競争原理を働かせることにより変動費を抑えて参ります。

委託料の中でも固定費に当たる業務委託費（保守業務、清掃維持管理業務、ゴミ収集、顧問料等）に関しては、契約内容の見直しや交渉を行い、コンプライアンス遵守の上で、施設維持管理や運営に悪影響を及ぼさないよう留意しつつ、取引業者様との共存共栄を図って参ります。

原油価格の変動に左右される燃料費と光熱水費に関しましては、季節毎に適切な温度設定を行い、お客様のご迷惑にならない範囲で費用を縮減していくとともに、常に節電節水の意識で運営して参ります。

今後増加すると思われる修繕費に関しましては、常時点検や清掃を心掛け、早期発見早期修繕することで経費を抑えて参ります。

各職場においては、業務の効率化を図るとともに各職員の生産性を向上させることがコスト削減に繋がり、その事が自身の中長期的なリターン（昇給等）に繋がっていくと明確にしていくことで、各職場や各個人のモチベーションアップを図って参ります。

経費削減に関しましては損益分岐点を管理しつつ、如何に下げていくかを常に念頭に置きながら運営して参ります。

7. 危機管理、安全衛生体制について

下松市防災危機管理課と連絡を密に取りつつ、笠戸島の住民や市民の皆様
の「安全、安心」を第一に協力体制をとって参ります。引き続き、備蓄品の保
管管理はもちろんのこと、台風接近時には島民の受け入れや応対等、防災危機
管理課との情報共有を計りながら、下松市危機管理マニュアルを元に策定し
た「国民宿舎大城の危機管理マニュアル」により対応します。防災拠点として

の役割を認識しつつ島民の皆様が安心して生活出来るよう支援してまいります。

下松市笠戸島の防災拠点の責務を果たすため、職員に対する防災意識を高めるとともに備蓄品の管理、消防署の協力による避難訓練、救急救命講習を実施します。

衛生管理面では、専門業者による害虫駆除の実施、衛生点検マニュアルを活用し食中毒の防止に努めるとともに、食品衛生の研修に力を入れ、知識の習得に努めます。

大城の浴槽、家族旅行村の足湯浴槽における洗浄・殺菌等を徹底し、レジオネラ菌発生防止に万全を期します。

安全衛生委員会を通じ、職員への健康管理の情報提供を行い、労働損失を防ぐよう努めます。

職員一人ひとりが対応出来るよう、以下のマニュアルを活用しながら、災害の防止に努めるとともに、お客様や地域住民の安全確保と迅速な対応に努めて参ります。

- ・避難所運営マニュアル(下松市作成引用)
- ・消防計画
- ・災害時におけるインフラ利用について
- ・食品衛生チェックリスト
- ・施設衛生管理マニュアル

8. 個人情報の保護の措置について

個人情報保護法及び方針に基づき法令を遵守し、情報漏洩を防止するため、特定の管理者及び職員にて、パスワード設定等を行い適正な情報セキュリティ対策を講じます。お客様には、宿泊約款、プライバシーポリシーを閲覧していただけるよう配置しております。

令和3年度 収支予算

令和3年（2021年）4月 1日から
令和4年（2022年）3月31日まで

令和3年度 一般財団法人下松市笠戸島開発センター収支予算

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

【単位:円】

科 目	当年度	前年度	増減	備考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	3,000	3,000	0	
基本財産受取利息	2,000	2,000	0	
特定資産受取利息	1,000	1,000	0	
事業収益	393,069,000	266,470,000	126,599,000	
宿泊料	125,685,000	95,870,000	29,815,000	
会議室料	400,000	140,000	260,000	
休憩料	390,000	130,000	260,000	
食事料	235,605,000	154,920,000	80,685,000	
酒類及び飲料	30,989,000	15,410,000	15,579,000	
売店売上収益	43,690,000	47,110,000	△ 3,420,000	
売店収入	43,690,000	47,110,000	△ 3,420,000	
その他事業収益	46,075,000	38,170,000	7,905,000	
温泉使用料	34,000,000	24,390,000	9,610,000	
使用料	6,175,000	6,140,000	35,000	
雑収益	5,900,000	7,640,000	△ 1,740,000	
受託料収益	35,079,000	76,900,000	△ 41,821,000	
補助金	0	11,700,000	△ 11,700,000	
助成金	0	32,500,000	△ 32,500,000	
管理収益	184,000	0	184,000	
受託料	34,895,000	32,700,000	2,195,000	
雑収入	5,201,000	5,391,000	△ 190,000	
受取利息	1,000	1,000	0	
雑収入	5,110,000	5,300,000	△ 190,000	
他会計からの繰入	90,000	90,000	0	
経常収益計	523,117,000	434,044,000	89,073,000	
(2) 経常費用				
事業費	518,553,000	433,944,000	84,609,000	
給料	59,120,000	57,100,000	2,020,000	
手当	31,430,000	31,890,000	△ 460,000	
賃金	74,680,000	72,670,000	2,010,000	
退職給付支出	4,596,000	5,360,000	△ 764,000	
法定福利厚生費	19,825,000	20,345,000	△ 520,000	
厚生福利費	760,000	710,000	50,000	
旅費	150,000	100,000	50,000	
被服費	720,000	200,000	520,000	
食事材料費	94,462,000	73,040,000	21,422,000	
酒類飲料材料費	12,438,000	7,020,000	5,418,000	
売店材料費	28,649,000	25,350,000	3,299,000	
備消耗品費	17,975,000	18,830,000	△ 855,000	
燃料費	11,600,000	7,405,000	4,195,000	
光熱水料費	24,400,000	20,100,000	4,300,000	
印刷製本費	2,090,000	2,085,000	5,000	
通信運搬費	3,010,000	2,730,000	280,000	
広告料	2,150,000	1,790,000	360,000	
使用料及び手数料	10,783,000	11,933,000	△ 1,150,000	

令和3年度 一般財団法人下松市笠戸島開発センター収支予算

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

【単位:円】

科 目	当年度	前年度	増減	備考
委託料	72,098,000	52,105,000	19,993,000	
研修費	150,000	20,000	130,000	
負担金	20,714,000	620,000	20,094,000	
賃借料	12,506,000	10,801,000	1,705,000	
公租公課	154,000	290,000	△ 136,000	
修繕費	2,810,000	2,270,000	540,000	
保険料	1,380,000	1,650,000	△ 270,000	
洗濯料	8,070,000	6,040,000	2,030,000	
販売促進費	1,070,000	860,000	210,000	
食糧費	94,000	70,000	24,000	
交際費	99,000	50,000	49,000	
減価償却費	430,000	420,000	10,000	
法人税等	50,000	0	50,000	
他会計への繰出	90,000	90,000	0	
経常費用計	518,553,000	433,944,000	84,609,000	
評価損益等調整前当期経常増減額	4,564,000	100,000	4,464,000	
基本財産評価損益等	0	0	0	
特定資産評価損益等	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	4,564,000	100,000	4,464,000	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
指定正味財産振替額		10,000,000	△ 10,000,000	
経常外収益計	0	10,000,000	△ 10,000,000	
(2) 経常外費用				
固定資産取得支出	0	0	0	
雑支出	0	0	0	
予備費	60,000	60,000	0	
経常外費用計	60,000	60,000	0	
当期経常外増減額	△ 60,000	9,940,000	△ 10,000,000	
他会計振替額			0	
当期一般正味財産増減額	4,504,000	10,040,000	△ 5,536,000	
一般正味財産期首残高	△ 59,873,939	△ 59,873,939	0	
一般正味財産期末残高	△ 55,369,939	△ 49,833,939	△ 5,536,000	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	△ 10,000,000	10,000,000	
指定正味財産期首残高	61,200,000	71,200,000	△ 10,000,000	
一般正味財産振替額	0	△ 10,000,000	△ 10,000,000	
指定正味財産期末残高	61,200,000	61,200,000	0	
III 正味財産期末残高	5,830,061	11,366,061	△ 5,536,000	

令和3年度 一般財団法人下松市笠戸島開発センター収支予算内訳表

令和3年4月1日～令和4年3月31日まで

【単位：円】

科 目	国民宿舎事業	笠戸島家族旅行村事業	はなぐり海水浴場事業	小計	法人会計	内部取引消去	合計	備考
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
基本財産運用益	0	0	0	0	3,000	0	3,000	
基本財産受取利息	0	0	0	0	2,000		2,000	
特定資産受取利息	0	0	0	0	1,000		1,000	
事業収益	388,265,000	4,804,000	0	393,069,000	0	0	393,069,000	
宿泊料	125,685,000	0	0	125,685,000	0		125,685,000	
会議室料	400,000	0	0	400,000	0		400,000	
休憩料	390,000	0	0	390,000	0		390,000	
食事料	231,220,000	4,385,000	0	235,605,000	0		235,605,000	
酒類及び飲料	30,570,000	419,000	0	30,989,000	0		30,989,000	
売店売上収益	40,900,000	2,790,000	0	43,690,000	0	0	43,690,000	
売店収入	40,900,000	2,790,000	0	43,690,000	0		43,690,000	
その他事業収益	40,830,000	5,245,000	0	46,075,000	0	0	46,075,000	
温泉使用料	34,000,000	0	0	34,000,000	0		34,000,000	
使用料	930,000	5,245,000	0	6,175,000	0		6,175,000	
雑収益	5,900,000	0	0	5,900,000	0		5,900,000	
受託料収益	0	31,810,000	3,269,000	35,079,000	0	0	35,079,000	
補助金	0	0	0	0			0	
助成金	0	0	0	0			0	
管理収益	0	0	184,000	184,000	0		184,000	
受託料	0	31,810,000	3,085,000	34,895,000	0		34,895,000	
雑収入	3,260,000	1,851,000	0	5,111,000	90,000	0	5,201,000	
受取利息	0	1,000	0	1,000	0		1,000	
雑収入	3,260,000	1,850,000	0	5,110,000	0		5,110,000	
他会計からの繰入	0	0	0	0	90,000		90,000	
経常収益計	473,255,000	46,500,000	3,269,000	523,024,000	93,000	0	523,117,000	
(2) 経常費用								
事業費	468,691,000	46,500,000	3,269,000	518,460,000	93,000	0	518,553,000	
給料	54,920,000	4,200,000	0	59,120,000	0		59,120,000	
手当	29,090,000	2,340,000	0	31,430,000	0		31,430,000	
賃金	54,430,000	18,250,000	2,000,000	74,680,000	0		74,680,000	
退職給付支出	3,840,000	756,000	0	4,596,000	0		4,596,000	
法定福利厚生費	17,860,000	1,950,000	15,000	19,825,000	0		19,825,000	
厚生福利費	700,000	60,000	0	760,000	0		760,000	
旅費	120,000	30,000	0	150,000	0		150,000	
被服費	600,000	120,000	0	720,000	0		720,000	
食事材料費	92,488,000	1,974,000	0	94,462,000	0		94,462,000	
酒類飲料材料費	12,228,000	210,000	0	12,438,000	0		12,438,000	
売店材料費	26,585,000	2,064,000	0	28,649,000	0		28,649,000	
備消耗品費	15,500,000	2,400,000	65,000	17,965,000	10,000		17,975,000	
燃料費	11,000,000	600,000	0	11,600,000	0		11,600,000	
光熱水料費	21,000,000	3,400,000	0	24,400,000	0		24,400,000	
印刷製本費	1,570,000	500,000	10,000	2,080,000	10,000		2,090,000	
通信運搬費	2,700,000	300,000	10,000	3,010,000	0		3,010,000	
広告料	1,500,000	650,000	0	2,150,000	0		2,150,000	
使用料及び手数料	10,540,000	240,000	0	10,780,000	3,000		10,783,000	
委託料	67,080,000	3,850,000	1,098,000	72,028,000	70,000		72,098,000	
研修費	120,000	30,000	0	150,000	0		150,000	

令和3年度 一般財団法人下松市笠戸島開発センター収支予算内訳表

令和3年4月1日～令和4年3月31日まで

【単位:円】

科 目	国民宿舎事業	笠戸島家族旅行村事業	はなぐり海水浴場事業	小計	法人会計	内部取引消去	合計	備考
負担金	20,630,000	84,000	0	20,714,000	0		20,714,000	
賃借料	11,500,000	960,000	46,000	12,506,000	0		12,506,000	
公租公課	130,000	24,000	0	154,000	0		154,000	
修繕費	1,810,000	1,000,000	0	2,810,000	0		2,810,000	
保険料	1,200,000	180,000	0	1,380,000	0		1,380,000	
洗濯料	7,820,000	250,000	0	8,070,000	0		8,070,000	
販売促進費	1,040,000	30,000	0	1,070,000	0		1,070,000	
食糧費	60,000	24,000	10,000	94,000	0		94,000	
交際費	60,000	24,000	15,000	99,000	0		99,000	
減価償却費	430,000	0	0	430,000	0		430,000	
法人税等	50,000	0	0	50,000	0		50,000	
他会計への繰出	90,000	0	0	90,000	0		90,000	
経常費用計	468,691,000	46,500,000	3,269,000	518,460,000	93,000	0	518,553,000	
評価損益等調整前当期経常増減額	4,564,000	0	0	4,564,000	0	0	4,564,000	
基本財産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	
特定資産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	
当期経常増減額	4,564,000	0	0	4,564,000	0	0	4,564,000	
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
指定正味財産振替額	0	0	0	0	0	0	0	
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	
(2) 経常外費用								
固定資産取得支出	0	0	0	0	0	0	0	
雑支出	0	0		0	0	0	0	
予備費	30,000	30,000	0	60,000	0	0	60,000	
経常外費用計	30,000	30,000	0	60,000	0	0	60,000	
当期経常外増減額	△ 30,000	△ 30,000	0	△ 60,000	0	0	△ 60,000	
他会計振替額						0	0	
当期一般正味財産増減額	4,534,000	△ 30,000	0	4,504,000	0	0	4,504,000	
一般正味財産期首残高	△ 60,696,654	806,228	0	△ 59,890,426	16,487	0	△ 59,873,939	
一般正味財産期末残高	△ 56,162,654	776,228	0	△ 55,386,426	16,487	0	△ 55,369,939	
II 指定正味財産増減の部								
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	61,200,000	0	61,200,000	
一般正味財産振替額	0	0	0	0	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	61,200,000	0	61,200,000	
III 正味財産期末残高	△ 56,162,654	776,228	0	△ 55,386,426	61,216,487	0	5,830,061	

一般財団法人下松市笠戸島開発センター

資金調達及び設備投資の見込みについて

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(1) 資金調達の見込みについて

借入れの予定	<input checked="" type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし
借入先	金額	使途
山口銀行	20,000,000円	新型コロナウイルスの影響により、収入減となった際、運営に必要な資金として記載金額を限度として短期借入れする。

(2) 設備投資の見込みについて

当期中における重要な設備投資（除却又は売却を含む）の予定はありません。